

読響
Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

運命

ベートーヴェン

この名匠が振れば間違いなし！
どんな曲も、生き生きと蘇る。

数多くの録音で高い評価を得るスイスの名匠
指揮=マリオ・ヴェンツァーゴ
Conductor= MARIO VENZAGO

《土日の午後を彩る名曲選》

オネゲル:交響的運動第1番「パンフィック231」

HONEGGER: Symphonic Movement No.1 "Pacific 231"

オネゲル:交響的運動第2番「ラグビー」

HONEGGER: Symphonic Movement No.2 "Rugby"

バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第1番 BB. 48a

BARTÓK: Violin Concerto No. 1, BB. 48a

ベートーヴェン:交響曲第5番 短調 作品67「運命」

BEETHOVEN: Symphony No. 5 in C minor, op. 67

銘器ストラディヴァリの
艶やかな音色！
ドイツの若き本格派が、
深い芸術性に迫る。

ベルリン・フィルなど世界の著名楽団と共演する実力派

ヴァイオリン=ヴェロニカ・エーベルレ

Violin= VERONIKA EBERLE

©Felix Broede

読売日本交響楽団 第260回 土曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Saturday Matinée Series No. 260

2023年9月16日(土) 14時開演
Saturday, 16 September 2023, 14:00

読売日本交響楽団 第260回 日曜マチネーシリーズ
Yomiuri Nippon Symphony Orchestra Sunday Matinée Series No. 260

2023年9月17日(日) 14時開演
Sunday, 17 September 2023, 14:00

東京芸術劇場 コンサートホール(池袋)
Tokyo Metropolitan Theatre

S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 <https://yomikyo.or.jp/>
共催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、回くお断りいたします。

運命

名匠ヴェンツァーゴが「運命」などで華麗なサウンドを生み、 本格派エーベルレがストラディヴァリウスの艶やかな音色を披露

音楽の本質に迫り、欧州で高い評価を得ているスイスの名匠マリオ・ヴェンツァーゴが登場。熟達したタクトで、クラシック音楽史に燦然と輝く名曲中の名曲、ベートーヴェンの交響曲第5番「運命」を演奏します。あの有名な“運命の動機”が畳み掛けるように展開する第1楽章に始まり、終楽章では勝利のフィナーレが輝かしく響き渡ります。苦難を乗り越え歓喜に至るドラマは、いつまでも色あせない魅力を持ち、時代を超えて私たちの心を惹きつけて止みません。古典派音楽も得意とし、百戦錬磨のマエストロが、この傑作交響曲の魅力を存分に引き出すことでしょう。どうぞ、ご期待ください。

前半には、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィルなど一流楽団と共演を続ける世界的ヴァイオリニストのヴェロニカ・エーベルレが共演します。曲は、バルトークのヴァイオリン協奏曲第1番。作曲家が愛するヴァイオリニストに捧げた作品とされており、ヴァイオリニストの死後に遺品の中から発見されました。孤独で内面的な第1楽章と、積極的に愛を告白するように饒舌でユーモアも交えた第2楽章で構成されます。エーベルレは、銘器ストラディヴァリによる透明感あふれる美しい音色と完璧なまでの技巧を披露し、会場を大いに魅了するでしょう。

冒頭に演奏するオネゲルの「交響的運動」の2曲にも、ご注目ください。鉄道オタクだった作曲家が、鉄道への愛を描いたのが「パシフィック231」。巨大な機関車が、蒸気を上げ、汽笛を鳴らしながら、動輪をゆっくりと動かし、次第に加速していく様子が、輝かしい管弦楽で描かれます。続く「ラグビー」は、作曲家がラグビーの試合観戦中に「スポーツを音楽で表現できるのか？」と尋ねられて書いたと言われています。ラグビーの試合で、ボールが転がり、選手が動き回り激しく衝突して伸びやかに躍動、最後はトライを決めたかのような爽快な響きで終わります。この演奏会の時期、フランスでのラグビー・ワールドカップで「ラグビー熱」も高まっていることでしょう。音楽による「ラグビー」もお楽しみください。

マリオ・ヴェンツァーゴ (指揮)

Mario Venzago, Conductor

幅広いレパートリーを持ち、国際的に高い評価を得ているスイスの名匠。チューリヒ生まれ。ウィーン国立音大でハンス・スワロフスキーらに師事。インディアンポリス響、ハイデルベルク市歌劇場、グラーツ歌劇場、バーゼル響、バスク国立管、イエーデポリ響などの音楽監督を歴任。王立ノーザン・シンフォニアの首席指揮者、スイスのベルン響の首席指揮者兼芸術監督も務めた。ベルリン・フィル、ボストン響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、フランス放送フィルなどの楽団に客演。録音も数多く、特にCPOレーベルからリリースしたブルックナーの交響曲全集は、国際的に高い評価を受け「斬新な演奏」として日本でも話題を呼んだ。2021年には、1988年N響への客演以来久々に来日して読響に初登場し、絶賛された。



ヴェロニカ・エーベルレ (ヴァイオリン)

Veronika Eberle, Violin

©Felix Broede

世界の檜舞台で活躍するドイツの本格派ヴァイオリニスト。ドイツ南部のドナウヴェルト生まれ。ミュンヘン音楽大学にてアナ・チュマチェンコに師事。2003年イフ・ニーマン国際コンクール優勝。06年17歳で、ザルツブルク復活祭音楽祭にてラルト指揮ベルリン・フィルとベートーヴェンの協奏曲で共演し、世界の注目を集めた。ハイティンク、ティーレマン、ノリント、ナガノら巨匠の指揮でロンドン響、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、ニューヨーク・フィル、フィラデルフィア管、ミュンヘン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バンベルク響などと共演している。使用楽器は日本音楽財団から貸与されたストラディヴァリウス1700年製「ドラゴネッティ」。読響とは2015年以来、2度目の共演。

読売日本交響楽団 第260回 土曜マチネーシリーズ

2023年 **9月16日** (土) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

読売日本交響楽団 第260回 日曜マチネーシリーズ

2023年 **9月17日** (日) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【観客】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります (公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306 (予約受付: 平日9時~17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296